

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	地域福祉対策プロジェクト		実施期間	平成24年度～	テーマ	地域福祉対策プロジェクト	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町では、山々に囲まれた地理的特性から豊かな自然環境に恵まれているが、鉄軌道や高等学校の施設が町内になく、学生を含めた若者世代や現役世代の町外への転出が発生しており、若者世代等の町外への転出は、地域の活力を減退させる原因にもなっている。</p> <p>地域を活性化させていくためには、子ども（子育て世代）から高齢者までの全ての世代の人々または障がい者の方が、住み慣れた地域において安心して暮らしていくため、地域全体で支えあう福祉のまちづくりの環境整備が必要とされている。一方、交通福祉対策として、鉄軌道がない本町においては、近隣市町への交通手段は、バス若しくは自家用車等に限定される。しかし、近年、自家用車の普及等により公共交通（バス）の利用者が減少し、町内一部地域においては、路線自体が廃止され、交通手段が自家用車以外にない地域が存在している。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>住民の方々が、様々な年代において、直面している課題を克服しながら、安心して暮らしていけることができるように、子育て支援を始め高齢者福祉、障がい者福祉を充実させるため、各種事業を実施する。また、住民の足の確保充実のため福祉バスを運行することで、交通弱者をはじめとする住民生活を守る。</p>							
	総事業費（千円）	12,070	本年度事業費（千円）	12,070	交付金額（千円）	3,325		
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	初めてのパパ・ママ等子育て支援事業	交付対象事業	初めて父親・母親になる妊婦とその家族が子育てにおいて、家族が果たす役割等の認識を深めるとともに、先輩（父母）との意見交換を行い、子育ての不安感を軽減する。			0歳～就学までの父親に父子手帳の配布 初めての赤ちゃんを持つ母親のためのベビープログラム講演会の実施(5/26講演会17名 2/7講演会45人) 先輩ママ・パパとの交流会 父子手帳250冊作成 保健センター77冊 支援センター30冊配布 ベビープログラム連続4回×9名参加		
	公共施設おもいやり駐車場利用促進・整備事業	交付対象事業	障がい者をはじめとする移動に配慮が必要な方に対し、町内公共施設の駐車場におけるバイリアフリー化の取り組みを行う。			○町公共施設における「京都おもいやり駐車場」設置箇所：8施設11箇所 ○町役場での「京都おもいやり駐車場」利用証交付申請受付・交付：6件		
	障がい者施設通所交通費助成事業	交付対象事業	障がいを持った方も自立した生活が送れるよう利用する交通手段に対し、支援を実施する。			○上半期分 10名 313,530円 ○下半期分 11名 302,450円 を助成。 施設通所に係る経費を支援することにより、障がい者が適切な福祉サービスを受けやすくするとともに、社会参加を促した。		
	福祉タクシー事業	交付対象事業	障がいを持った方が各施設に通所するために要した交通費の一部助成又は、日常外出する際の福祉タクシー等利用券を交付し、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図る。			タクシーチケットまたはガソリン券として使用できる「福祉タクシー等利用券」を下記対象者に対して交付。 (1)視覚障がい下肢、体幹機能障がい……1級、2級 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、免疫機能障がい……1級 (2)療育手帳……A (3)じん臓機能障がい者で人工透析を受けている者（障がい等級不問）		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：宇治田原町

	ギャラリーバス運行事業	関連事業	福祉バスに子どもの絵画を展示し、福祉バスを身近なものと感じることで利用者の増を図る。	応募作品数	4点（5歳児2点、6歳児2点）
	ファミリーサポート事業	関連事業	住民ボランティアとの協働で、「育児を手伝いたい方と、手助けをしてほしい方」を募り、子育て支援環境の充実を図る。	利用実績	12件
	証明発行・申請代行業「届ケール」	関連事業	高齢者等外出が困難な方に対し、町職員が協力して、町発行の各種証明書について代行（手伝い）を行う。	平成24年度実績…13件 町広報誌の毎月の「町カレンダー」にてPR	
	福祉バス運行事業	交付対象事業	高齢者及び障がい者等の日常的な交通手段を確保するため、福祉バスを運行し、住民福祉の向上を図る。 ・運行便数：30便/日 ・運行経路：3ルート ・バス台数：2台	利用周知のための取り組みとして、小学校就学前の子どもと保護者を対象としたハイキングを開催した。福祉バスに関するクイズを出題し、正解者の中から抽選で町の特産品をプレゼントするもの。	
住民協働事業	食の自立支援事業	関連事業	食事の作成ボランティア等との協働により、高齢者及び身体障がい者に昼食・夕食の配食サービスを実施する。	栄養バランスのとれた食事を提携するとともに、安否確認を併せて行い、高齢者の健康と生活の質を確保し、介護予防を図ることができた。	
成果指標①	成果指標の目標数値	障がい者生活の安定 ・福祉バス利用者の増 【23年度の利用者数】15,576名		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	【24年度の利用者数】14,011名
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 利用者数は、昨年度より1,565名の減少。原因としては、ルートの変更やダイヤの改正により、使いづらくなったことが挙げられる。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	障がい者仕事支援事業における収入・生産量の増 【平成23年度 施設における野菜の売上金】243,963円 (JA直売所・役場販売・各種販売等)		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	【平成24年度 施設における野菜の売上金】420,670円 (JA直売所・役場販売・各種販売等)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 売上金の増加からも、着実な成果をあげており、事業を通して本町の特産物・自然環境・人材などの地域資源を大いに活かした障がい者の仕事の場となっていると言える。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：宇治田原町

<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>経済的支援やサービスの提供等、様々な面からの活動により、宇治田原町の福祉環境の向上につながっている。福祉バスにおいては、利用者数が激減しており、住民が利用しやすいルートやダイヤを調査し、見直す必要がある。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>育児におけるマッチング事業や子育て交流の場の設置により、地域で子育てを支援する体制づくりを構築することができた。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>ボランティアの協力により、経費を抑えながら子育ての支援を図ることができた。</p>
	<p>その他の成果</p>	<p>障がい者が継続して仕事に従事することで、自立した生活を送ることが期待でき、また仕事内容の充実のために地域団体等の支援を得ていくことで、地域活動の活性化に繋がっている。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。